

橋処理センター解体撤去及び建設工事に係る説明会議事録

日 時 平成31年2月1日(金) 18時30分 ~ 20時30分

場 所 川崎市民プラザ 2階会議室

説明資料【橋処理センター解体撤去及び建設工事に関わる住民説明会】に基づき、橋処理センター解体撤去工事の完了報告と建設工事について、市職員から説明。

【質疑応答】

- 市職員： 質問は3問程度御受けし、その後回答という形式をとりたいと思います。
- 住 民： 地下構造物解体撤去工事について、地上構造物解体撤去工事と同じやり方でしょうか。
- 住 民： 敷地に工事車両が相当な台数出入りすると思いますが、時期と車両台数を教えてください。
- 住 民： 橋処理センター建設工事説明資料の23ページについての質問です。土壌汚染対策工事では汚染土壌を撤去する際に遮水壁を設置し、地下水を汲み上げるとのことでした。汚染土壌から地下水に汚染が溶け出し、その地下水が下流に流出していないかどうかの確認はしているのでしょうか。
- 市職員： それでは3つの御質問の回答をさせていただきます。
- 市職員： 1つ目の地下構造物解体撤去工事のやり方についてですが、使用する重機は地上構造物解体撤去工事と同様に、圧砕する重機で散水を行いながら解体を進めてまいります。その際には粉じんに対して十分に配慮するように留意します。
- 住 民： 地上構造物解体撤去工事で粉じんについての苦情が寄せられて、具体的な対策をしたのでしょうか。実際私自身も自宅で騒音、振動を経験しており迷惑しています。
- 市職員： 地下解体撤去工事では、従来の人力で散水に加え、スプリンクラーによる散水や重機からの散水等の実施を考えています。スプリンクラーは人力と違い、定量的に散水を実施できるかと思います。更に防風ネットを設置する計画とすることで、これまで以上に徹底した監理を実施してまいります。
- 住 民： 防風ネットの高さはどれくらいですか。
- 市職員： 4mになります。

- 住 民： その高さで十分であると言い切れませんか。
- 市 職 員： 十分であると言い切りがたい点もあります。しかしながら地上と地下で異なる点があります。地上での解体は、建物に対して三方を飛散防止パネルで囲い、重機用の入口が一面開放されておりました。それに対して地下での解体は、防風ネットで四方を囲い、作業エリアに風が吹き込みにくい状態になっています。したがって、風による影響は地下のほうが受けにくく、粉じん飛散が抑えられると想定しています。
- 住 民： 前回の住民説明会で提案させていただきましたが、ドームで解体する建物を囲うことはできないのでしょうか。前回の説明会では、費用面で難しいと回答をいただきました。しかしながら、地上解体撤去工事では実際に振動、騒音、粉じんの苦情が寄せられている事実があります。新しくできる橋処理センターは良いものであると認識していますので、施設そのものに苦情を申すわけではありません。工事の過程で住民に迷惑がかかるのであれば、しっかりと対策をして工事を進めていただきたいです。
- 市 職 員： 解体用のドームの設置は、橋処理センターの敷地の特性上、大きな高低差があるため、土を掘ったり、ドーム用の基礎を作ったりするなどかなり大掛かりな作業になります。その大掛かりな作業が粉じん発生の原因にもなりえます。現時点での一番有効な粉じん対策は散水だと考えています。スプリンクラーや散水車など今まで設置していなかった設備を新しく採用し、更なる粉じん対策を図っていきたいと考えています。
- 住 民： 次の質問に移ってください。
- 市 職 員： 2つ目の工事車両の搬出入時期と台数についてですが、工事期間中搬出入台数が1番多い時期は平成33年から34年にかけてです。その時の台数は1日のピーク台数で200台と想定しています。
- 住 民： 今の回答を聞くと結構な交通量であると予想できます。何か対策はあるのでしょうか。
- 市 職 員： 旧橋処理センターが運営していた時期では、収集車の出入りが1日あたり300台を超えていました。比較すると、工事中のほうが少ない値となります。全く影響がないとも言い切れませんが、旧橋処理センターの運営時よりも渋滞する可能性は低いと考えています。
- 市 職 員： 3つ目の土壌汚染が地下水を介して敷地外に流出していないかどうかの確認についてですが、説明資料45ページに記載していますとおり、5か所の地下水観測井で土壌汚染の流出がないことを確認し

ています。橋処理センターにおける地下水は山側から下流側に流れています。更に記載された5か所とは別に、地下水の汚染が検出された範囲の付近にも地下水観測井を2か所設けて監視を継続しています。汚染として検出された鉛という物質は、地下水に溶けて流出する速度は100年で80mほどです。そういったことから敷地外に流出していることは考えにくいと判断しています。

- 市職員： そのほか御質問はありますか。
- 住民： 川崎市民プラザの暫定駐車場の第1期についてですが、横断歩道を渡って川崎市民プラザへ行くことになるかと思えます。ここに交通誘導員を配置する予定はありますか。
- 市職員： 川崎市民プラザの暫定駐車場は川崎市民プラザで維持管理する予定です。そのためこの場で即答が難しいので後日回答させていただきます。 【別紙回答書1参照】
- 住民： 橋処理センターには新しく駐車場ができる計画になっていますが、現在の川崎市民プラザ立体駐車場の台数に対して、どのくらいの台数になるのでしょうか。
- 市職員： 新しい駐車場は現時点で70台の予定です。
- 住民： 説明資料の31ページにある、地下構造物の杭を抜く作業の際に、振動は発生しますか。
- 市職員： 杭を抜く際にはまず杭の周囲と地盤を切り離します。切り離した後に杭をクレーンで真上に抜きます。杭を上からたたき壊す工法ではなく、真上に抜く工法を採用することで、騒音、振動は低減できると考えています。
- 住民： 振動の発生源はコンクリートの解体作業でしょうか。自宅で地上構造物解体撤去工事による振動を経験していますので、心配です。
- 市職員： 地上構造物解体撤去工事で現場にいた時は、コンクリートの解体作業よりも重機の移動のほうが振動を感じました。地下の解体では、地上で使用した重機よりも小さい重機を使用する予定です。今後はこの経験を基に重機の移動に細心の注意を払い、振動を抑えるように努めます。また、解体中にコンクリート塊が地面に落ちて発生する振動については、今後は地下の解体になることから、発生しにくくなると考えています。
- 住民： 解体作業中に上から散水することはできませんか。粉じんは上に舞うので横からよりも上からの散水が有効だと思います。
- 市職員： 地上構造物解体撤去工事の際は、建物を上から壊していったので、人が寄り付くのが危険な場所もあり、上からの散水が困難な時もある

りました。しかし、地下構造物解体撤去工事では、地面より下の作業となるので、おっしゃる通り上からの散水が有効であると認識しています。今後は人力及びスプリンクラーによる散水はできるだけ上から行うように努めてまいります。

市職員： そのほか御質問がないようですので、本日の説明会を閉会させていただきます。ありがとうございました。